

## 今後の都市政策のあり方

政策研究大学院大学教授  
松谷明彦

### 1. 基本的な前提

当該都市に、いかなる経済社会システムを構築するのか

### 2. 経済システムの選択

薄利多売モデルか、高価格化モデルか

技術先端路線か、高品質・高級化路線か

与件の変化は労働力の縮小、労働力の高齢化

選択の基準は実現可能性

### 3. 社会システムの選択

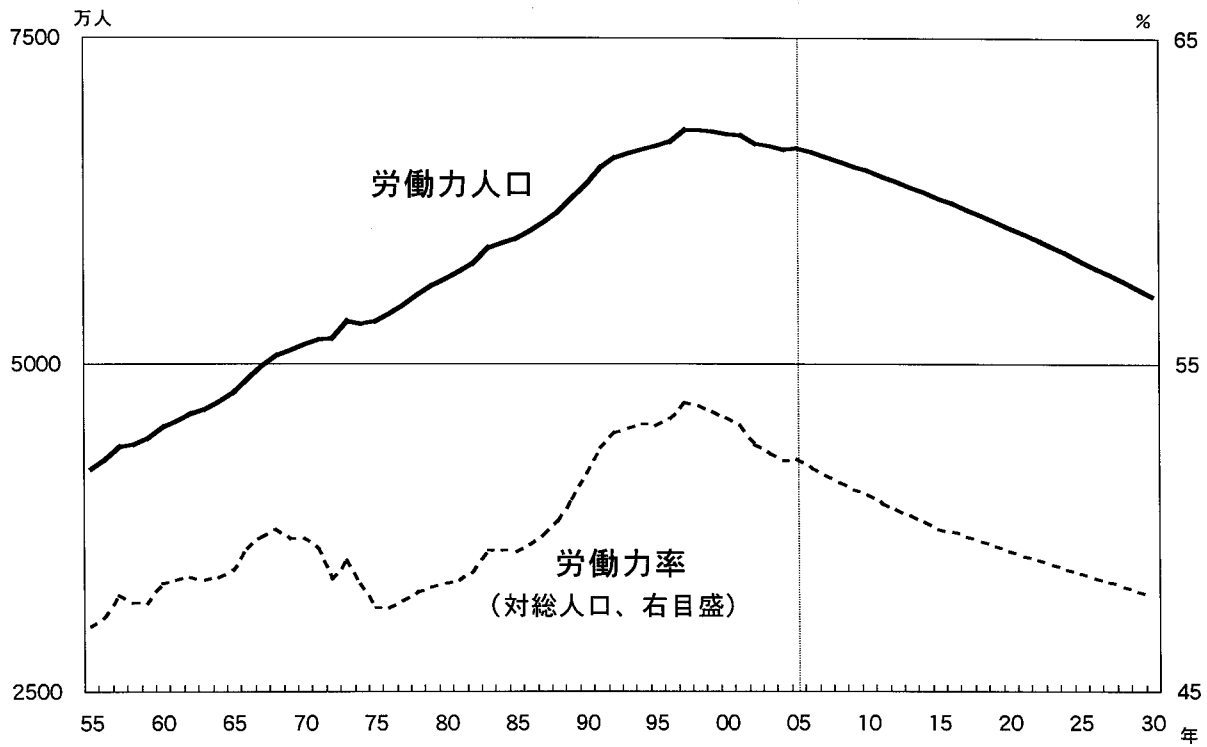
大きな行政機構か、小さな行政機構か

社会資本の高度化か、政策の多様化か

与件の変化は労働力率の低下、貯蓄率の低下

選択の基準は持続可能性

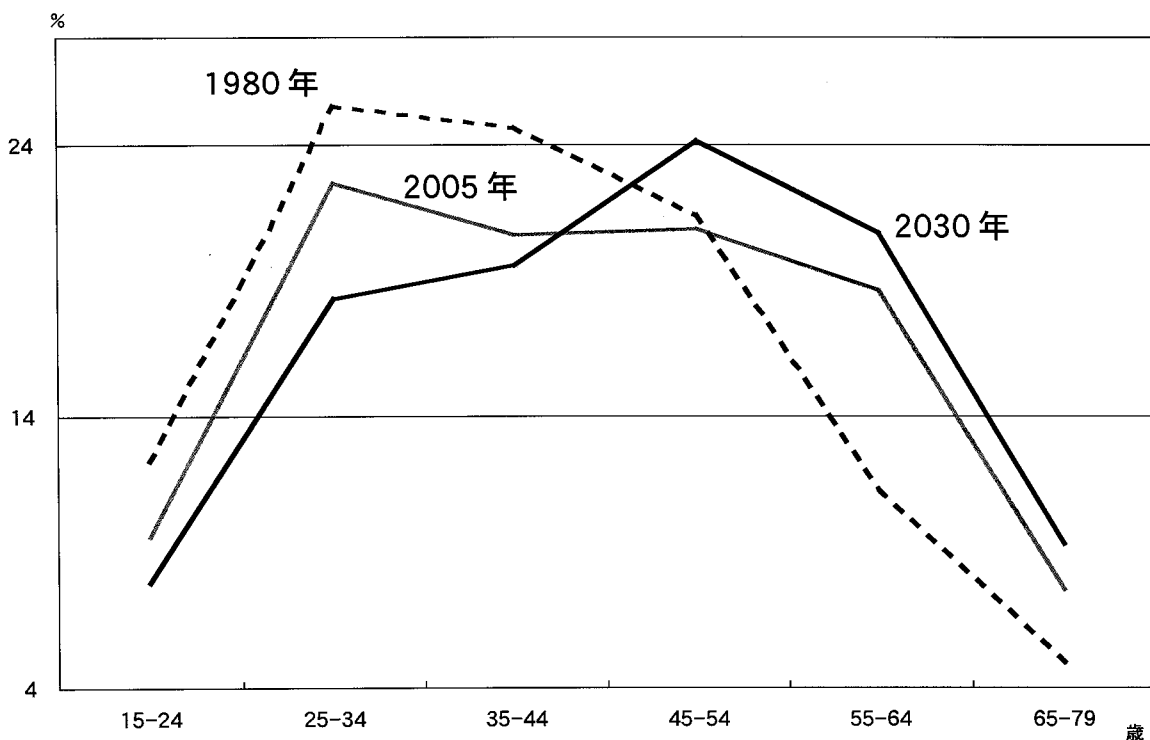
第1図 労働力人口、労働力率の実績と予測



実績値は総務省「労働力調査」、予測値は松谷推計

© Matsutani Akihiko

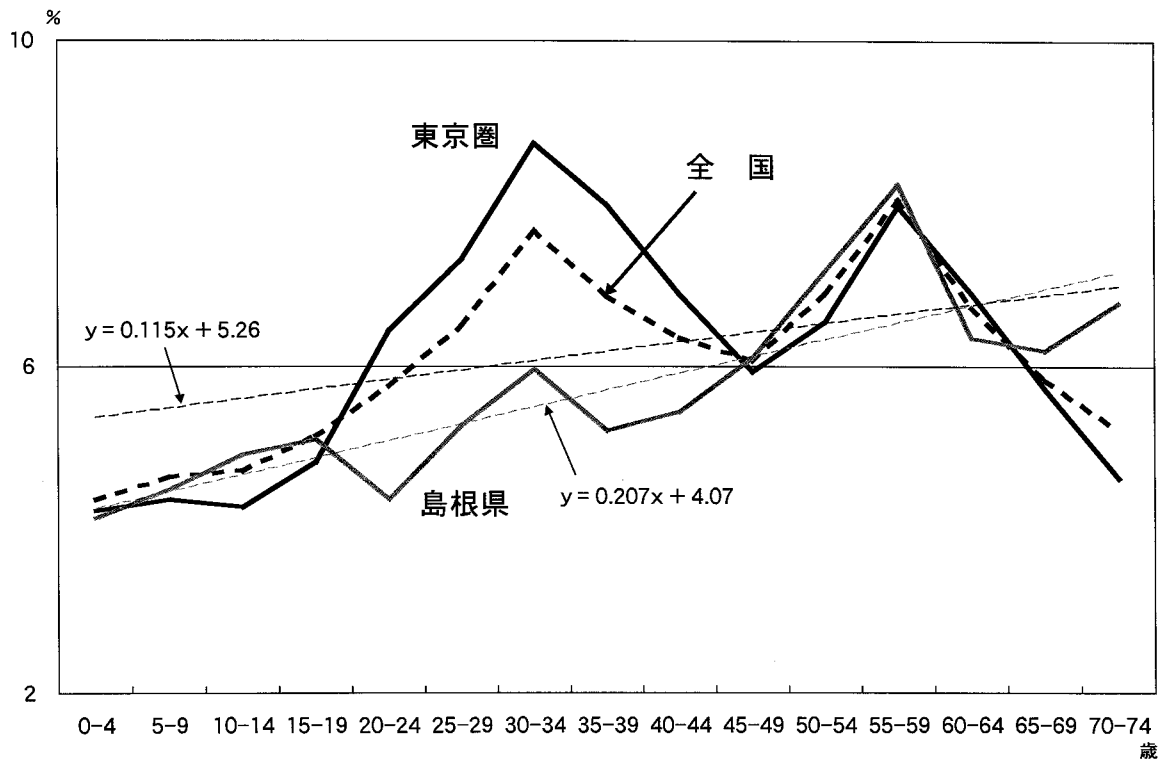
第2図 労働力の年齢構造の実績と予測



実績値は総務省「労働力調査」、予測値は松谷推計

© Matsutani Akihiko

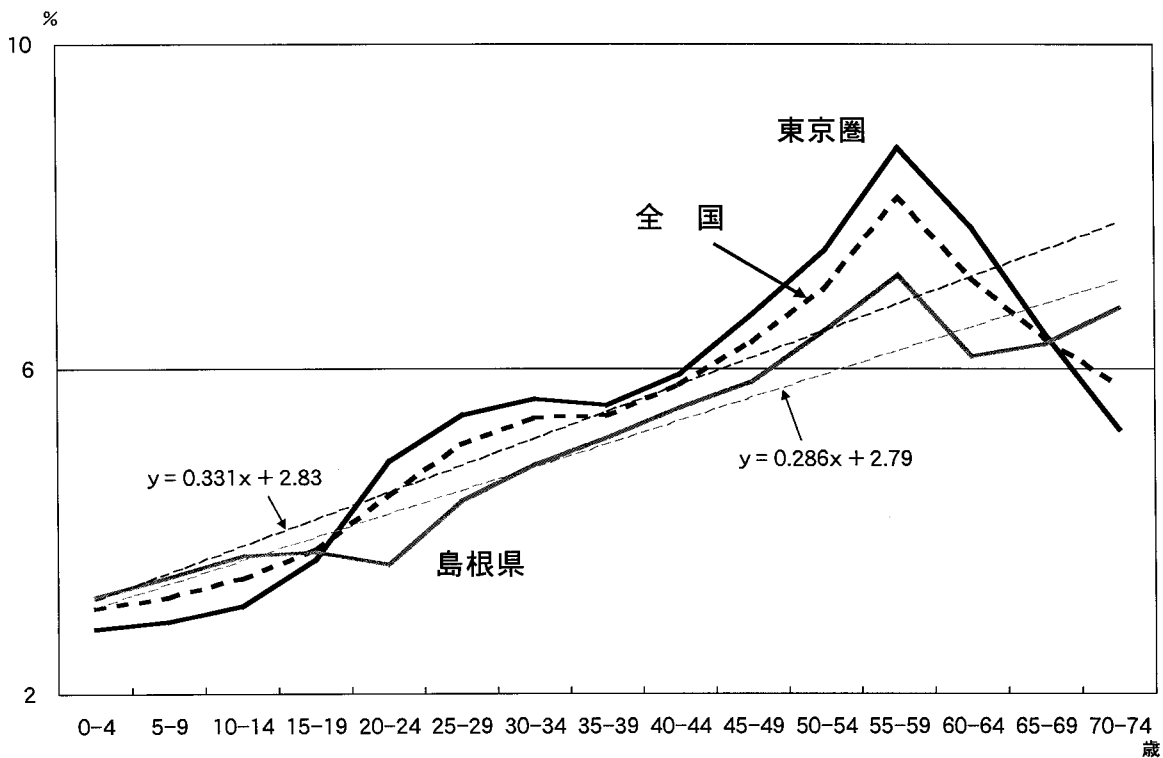
第3図 地域の年齢階級別人口構造（2005年）



総務省「国勢調査」

© Matsutani Akihiko

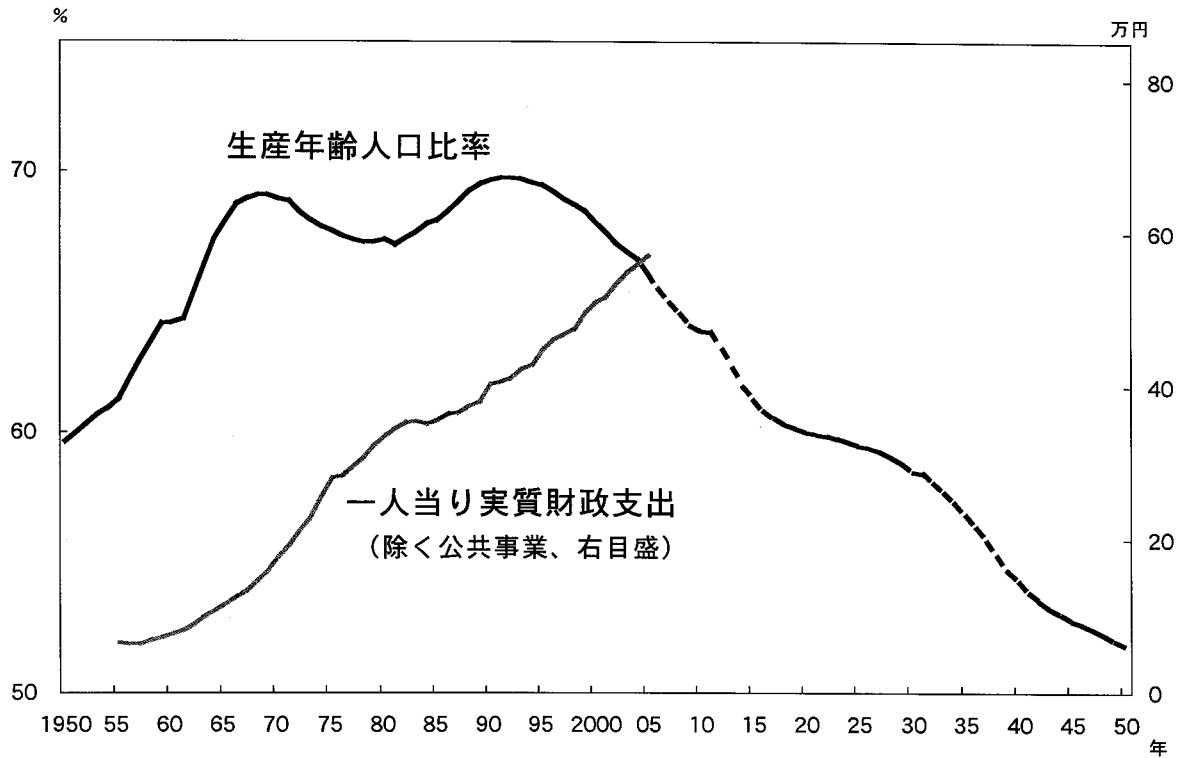
(2030年推計人口)



国立社会保障人口問題研究所「将来推計人口」

© Matsutani Akihiko

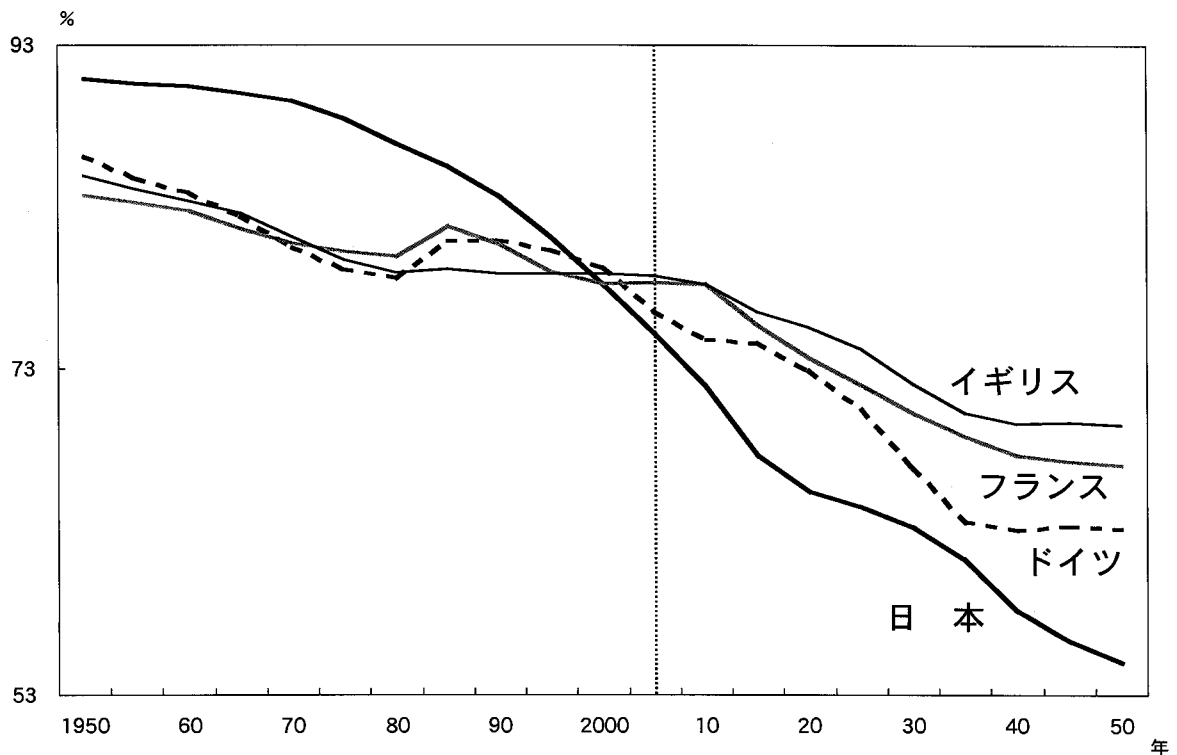
第4図 生産年齢人口比率と一人当り実質財政支出



社人研「将来推計人口」、内閣府「国民経済計算」より松谷算出

© Matsutani Akihiko

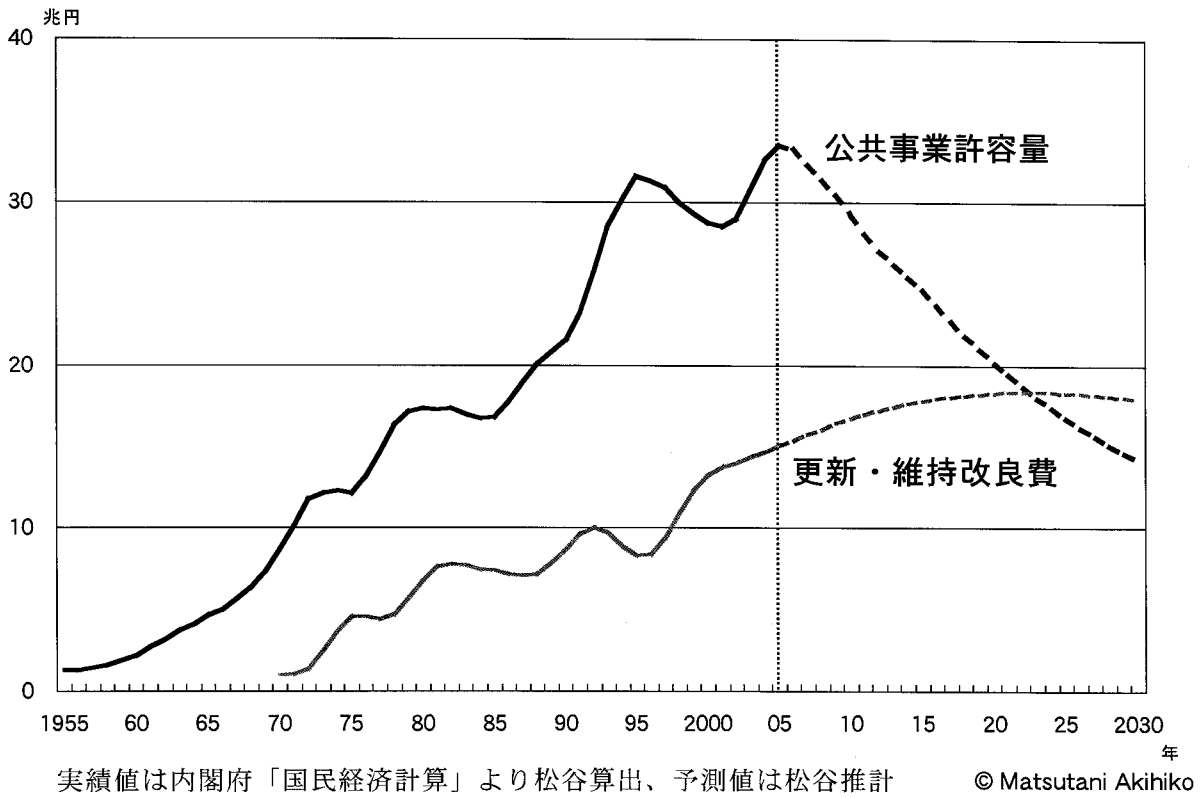
第5図 20歳以上の人口に占める20-64歳人口の比率



United Nations "World Population Prospects"

© Matsutani Akihiko

第6図 公共事業許容量と更新・維持改良費の予測



第7図 主要先進国の高齢化率

